

## 聴覚障がい教育研究部会

### 1 研究主題「聴覚障がい教育の資質向上に向けて」

### 2 主な研究・活動の内容

#### (1) 年間活動報告について

期日	活動	会場
6月17日	総会、運営委員会	都城さくら聴覚支援学校（リモート）
7月30日	夏季研修会	宮崎県建設技術センター
10月16、17日	第59回全日本聾教育研究大会長崎大会	長崎県立ろう学校 他
3月10日	運営委員会	都城さくら聴覚支援学校（リモート）

#### (2) 聴覚部会研修会

**主題 「子どもの学ぶ意欲を高め、可能性を広げる ICT の活用」**

夏季研修会では、都城さくら聴覚支援学校と延岡しろやま支援学校（聴覚障がい教育部門）の両校が宮崎市内の会場に参集し、対面にて協議を行った。対面で実施することで、職員間での情報共有を活発に行うことができた。協議については、主に学部ごとのグルーピングを行い、それぞれの学校での実践や ICT を活用する上でのメリット、デメリットについて協議し、聴覚障がいのある子どもたちが学びを深めていくためにどのような活用ができるのか、活発な意見交換を行うことができた。

#### (3) 第59回全日本聾教育研究大会長崎大会

##### 【日程】

〈1日目〉10月16日（木） 授業公開、授業研究分科会、開会式・記念講演会

〈2日目〉10月17日（金） 研究協議分科会、閉会行事

1日目の授業研究分科会では、各学部の分科会に分かれ、指定授業についてグループごとに協議を行った。小学部の分科会では、グループ内では、国語科の「海のいのち」という教材を取り扱った授業について、子どもたち同士がどのような手立てがあれば、話し合い活動を深めることができるだろうかという視点で活発な協議が行われた。

2日目の分科会は、第5分科会（自立活動）の運営を都城さくら聴覚支援学校と延岡しろやま支援学校の両校で終日実施した。午前のレポート発表を基に、午後は協議を行い、全国の聴覚障がい教育に携わる方々が、各県の現状や課題等の共有をされていた。

##### 【記念講演】

**演題 「聴覚障害児の可能性を極みまで信じて」 講師 長南浩人氏（筑波技術大学）**

記念講演では、長南先生より、聴覚障害のある子どもたちの言語環境の大切さを改めて語っていただいた。名詞だけの単語の連呼ではなく、物事の関連性に関する言葉を積極的に使っていく必要があることや、聴覚障がいのある子どもたちは、知覚はするが認知が苦手であることを話されていた。思考の道筋を教師の問いでリードし、考えさせる経験を積ませることが大事であるとのことだった。